

全育連発20-13号
令和2年(2020年) 5月8日

文部科学大臣 萩生田 光一 様

(一社) 全国手をつなぐ育成会連合会
会 長 久 保 厚 子
(公 印 省 略)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望

日ごろから、本会の活動へご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症(以下「新型コロナ」という。)の感染拡大に伴い、全国へ緊急事態宣言が発令されたことを受け、本会にもさまざまな不安の声が寄せられております。

つきましては、次のとおり本会からの緊急要望を提出いたしますので、よろしくお取り計らいのほど、お願い申し上げます。なお、新型コロナについては未曾有の事態であることを踏まえ、すべての事項について完全に履行することを求めるものではなく、知的障害児向けの対応方策の検討を本会や関係団体とともに考えていただきたい趣旨であることを申し添えます。

記

1 学校休業中における好事例の水平展開

学校休業中における小学校・中学校(特別支援学校)や特別支援学校などにおける対応については、本会から3月4日付けで「新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急要望」を提出したところです。その後、各地の学校において感染防止対策を講じた上でさまざまな取組みが展開されているとの報告が寄せられています。

つきましては、以下3点について可能な範囲で好取組を収集し、都道府県・政令市の教育委員会へ情報提供してください。

- (1) 学校の開設や自主通学の受入れ、教員の居宅訪問
- (2) 特別支援教育に携わる教員の放課後等デイサービスなどへの応援
- (3) 学校施設の開放

2 特別支援学校高等部3年生への確実な卒業進路指導

新型コロナの拡大防止を背景に、卒業進路を検討するために重要な進路先候補への実習などが大幅に縮減している状況が報告されています。高等部における進路決定は人生における大きな節目でもありますので、緊急事態宣言終了後などの機会を捉えて速やかに実習の再開など進路指導を実施するよう、都道府県・政令市の教育委員会へ通知してください。

また、あわせて新型コロナの状況を踏まえ、少なくとも今年度については年度を越えての進路先開拓や実習実施といった対応が図られるように進路指導の運用を改善してください。

3 オンライン学習環境を生かした在宅生活支援

新聞報道等によると、年度中には小中学生に1人1台パソコンを配備し、通信環境が整っていない場合にはモバイルルーターを貸し出すなど、自宅でのオンライン学習環境を整備する計画となっています。

今後も通学が困難で自宅での生活が中心となる可能性がある中で、知的障害児に対する自宅学習の支援だけでなく、家庭内での過ごし方や体調管理のための体操等を配信することは、在宅生活の支援のみならず、学校休業中の支援を担う放課後等デイサービスや放課後児童クラブにも効果的と考えます。

つきましては、トライアングル・プロジェクトの推進にも資する取組みとして、オンライン学習環境を生かした家庭内での過ごし方や体調管理のための体操等の配信を検討してください。

以 上